

1.【人口の高齢化率】人口の2／3が高齢者という村もある現実

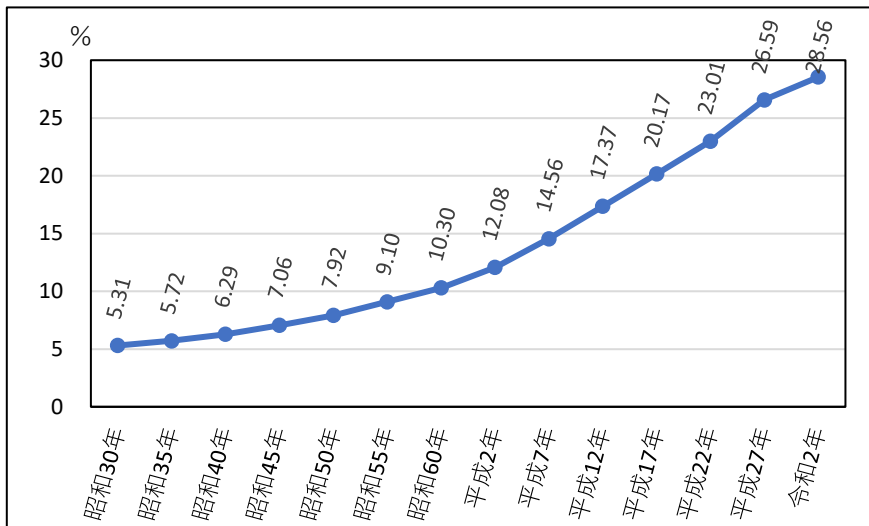
国の将来を左右する人口動向の中で、「高齢化」の進展は「少子化」とともに大きな注目点であり、活力減退の代名詞のように言われます。しかしその程度は一様ではなく、地域によって大きな相違があります。

統計上、人口の年齢構成は、まず、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）の3つに分けるのが基本ですが、高齢化の度合いを示す最も基本的な指標となるのは老年人口（65歳以上）が全人口に占める割合である「高齢化率」です。また、老年人口（65歳以上）を生産年齢人口（15～64歳）で除したものを「老年人口指数」といい、これは、その逆数が、「高齢者一人を生産年齢人口何人で支えるか」という値になります。

全国の高齢化率（65歳以上人口の割合）は、昭和30年には5%程度だったものが年々上昇し、令和2年には28%を超え、3割に近づいています。因みに、15歳未満の年少人口比率は、昭和30年には33.4%だったものが令和2年には11.9%と、約1／3に低下しており、「少子高齢化」が恐ろしい勢いで進んでいることがわかります。

人口の年齢構成は、かつては文字通り「ピラミッド」型だったものが、今は「釣り鐘」型を乗り越えて「壺型」を呈しており、生まれる子どもが少なく、遠からず寿命を迎える高齢者が多いことから、日本の人口減少が今後さらに加速することになるわけです。

全国の高齢化率の推移



注)平成27年から不詳補完処理をされた値

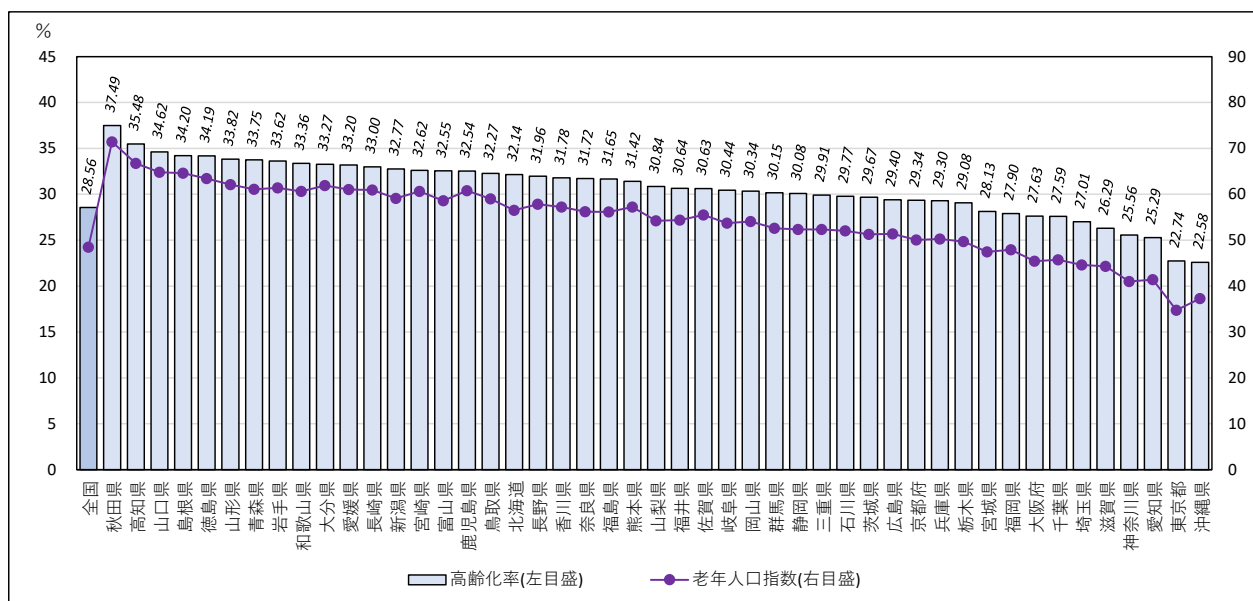
資料：国勢調査

このように全国的に上昇を続けている「高齢化率」ですが、その状況は一様ではなく、ここではその「高齢化率」の地方・地域による相違の状況を見ていきましょう。

☞高齢化率は最大の秋田県と最小の東京都で 1.7 倍近い格差

最初に、令和 2（2020）年国勢調査による都道府県別の「高齢化率」を高い順に並べたものを、「老年人口指数」とともに示します（外国人を含む総数の人口による）。

都道府県別の高齢化率（老年人口指数とともに）



資料：令和 2（2020）年国勢調査

全国の高齢化率は 28.6%で、既に 10 人のうち 3 人近くが高齢者という状況ですが、47 都道府県別では、最上位の秋田県（37.5%）と最下位の沖縄県（22.6%）の間で 15 ポイント、1.7 倍近い差異があります。全国平均よりも高いのは 47 都道府県のうちの 37 にも及び、全国平均以下は 10 都府県のみです。これは、東京都や大阪府をはじめ大都市圏や地方中核都市を含む人口が多い府県の高齢化率が比較的低いため、それ以外の多くのエリアで高齢化は全国値以上の程度まで進んでいるといえます。

老年人口指数は、分母の生産年齢人口、特に若年層の人口の厚みの相違により、高齢化率とは若干順位が入れ代わる部分もありますが、概ね同様の傾向です。最上位の秋田県は若年層の流出が激しく、相対的に高齢者の割合が高くなっているわけで、他の東北各県も同様の状況です。

東京都は全国から若年層が多く集まってくるので相対的に高齢者の割合は 46 位で沖縄県とほぼ並び低いですが、人口規模が大きいので高齢者の数は約 311 万人にも達しており、秋田県の総人口の 3 倍以上という多さです。従って、量的には大都市部の方が高齢者問題は深刻ということもできます。

なお、高齢化率が最も低い沖縄県は、出生率の高さが年少人口や生産年齢人口の割合を押し上げていることによる面もあるようです。

☞群馬県南牧村では人口の 2/3 が高齢者

次に、市区町村別に高齢化率を見ると、その差異はさらに広がります。ここでの「区」は東京特別区を指し、政令指定都市はひとつの「市」として扱います。令和 2 年の市区町村数は 1,741（北方領土の 6 村を除く）ですが、福島県双葉郡の 8 町村は東日本大震災・原子力発電所事故の影響で特殊事情にあることから対象から除いており、比較対象は 1,733 市区町村となります。

市区町村別の高齢化率の上位・下位（令和2年国勢調査）

全市区町村での順位

「市」（東京特別区を除く）での順位

順位	(県)	市町村名	高齢化率 (%)	老年人口指数 (%)
上	1	群馬 南牧村	65.24	201.34
	2	長野 天龍村	62.14	195.72
	3	群馬 神流町	61.46	175.83
	4	福島 金山町	60.93	177.74
	5	奈良 御杖村	60.41	166.85
	6	高知 大豊町	58.68	164.40
	7	奈良 東吉野村	58.29	159.67
	8	福島 飯館村	57.46	143.81
	9	山口 上関町	56.40	151.14
	10	徳島 上勝町	55.94	151.08
	11	高知 仁淀川町	55.68	150.00
	12	福島 昭和村	55.62	142.30
	13	奈良 川上村	55.58	144.59
	14	青森 今別町	55.27	137.38
	15	和歌山 古座川町	55.24	147.95
	16	奈良 黒滝村	55.22	145.76
	17	大分 姫島村	54.61	144.92
	18	山口 周防大島町	54.60	139.69
	19	長野 栄村	54.37	137.92
	20	徳島 神山町	54.34	136.86
.
.
下	1714	山梨 昭和町	19.56	30.42
	1715	愛知 高浜市	19.50	29.91
	1716	滋賀 栗東市	19.19	29.88
	1717	三重 朝日町	19.18	30.95
	1718	三重 川越町	18.90	28.35
	1719	東京 渋谷区	18.88	26.75
	1720	東京 文京区	18.85	27.50
	1721	愛知 みよし市	18.65	28.07
	1722	福岡 新宮町	18.39	30.25
	1723	東京 青ヶ島村	18.34	26.50
	1724	東京 御蔵島村	17.96	28.29
	1725	埼玉 和光市	17.94	26.19
	1726	福岡 粕屋町	17.90	27.98
	1727	千葉 浦安市	17.80	25.65
	1728	愛知 長久手市	17.52	27.16
	1729	埼玉 戸田市	16.94	24.79
	1730	東京 港区	16.87	24.33
	1731	東京 千代田区	16.36	23.33
	1732	東京 中央区	14.61	20.36
	1733	東京 小笠原村	14.11	19.68

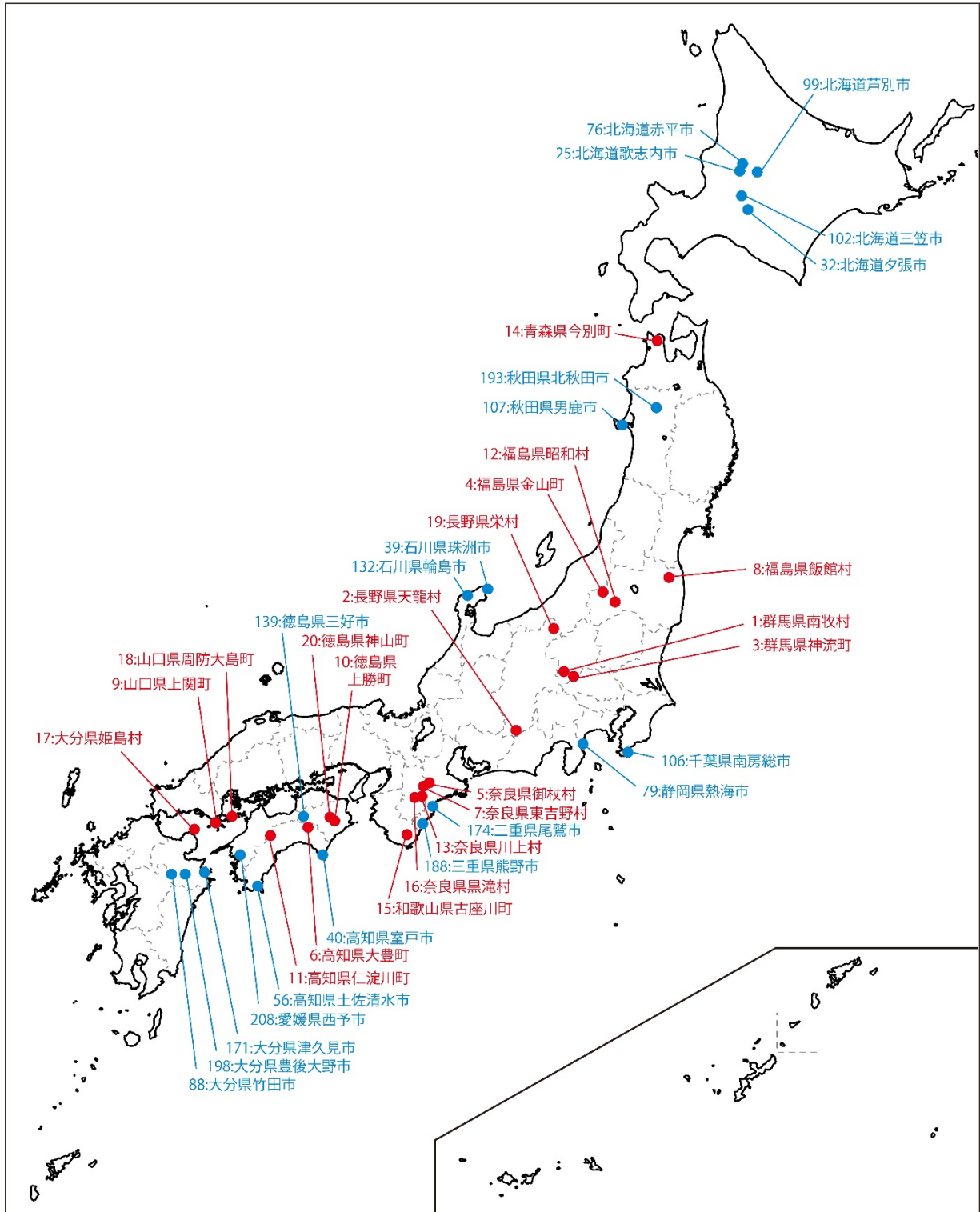
順位	全体順位	(県)	市名	高齢化率 (%)	老年人口指数 (%)
上	1	25	北海道 歌志内市	53.32	127.16
	2	32	北海道 夕張市	52.21	123.76
	3	39	石川 珠洲市	51.70	125.69
	4	40	高知 室戸市	51.66	124.54
	5	56	高知 土佐清水市	50.58	119.90
	6	76	北海道 赤平市	48.88	109.09
	7	79	静岡 熱海市	48.71	107.37
	8	88	大分 竹田市	48.33	113.06
	9	99	北海道 芦別市	47.79	105.08
	10	102	北海道 三笠市	47.50	107.09
	11	106	千葉 南房総市	47.24	106.48
	12	107	秋田 男鹿市	47.22	102.92
	13	132	石川 輪島市	46.26	99.79
	14	139	徳島 三好市	46.11	101.20
	15	171	大分 津久見市	44.99	97.42
	16	174	三重 尾鷲市	44.96	97.26
	17	188	三重 熊野市	44.73	97.91
	18	193	秋田 北秋田市	44.59	94.24
	19	198	大分 豊後大野市	44.42	97.54
	20	208	愛媛 西予市	44.16	96.60
.
.
下	773	1683	千葉 市川市	21.37	31.99
	774	1686	愛知 安城市	21.22	33.19
	775	1688	東京 小金井市	21.16	31.79
	776	1692	愛知 刈谷市	20.92	32.18
	777	1693	沖縄 沖繩市	20.85	33.68
	778	1694	茨城 つくば市	20.41	31.83
	779	1696	沖縄 浦添市	20.30	32.52
	780	1697	愛知 知立市	20.27	30.74
	781	1700	神奈川 川崎市	20.19	30.08
	782	1701	石川 野々市市	20.18	31.14
	783	1706	沖縄 豊見城市	19.88	32.84
	784	1708	沖縄 宜野湾市	19.70	31.29
	785	1711	埼玉 朝霞市	19.60	29.35
	786	1715	愛知 高浜市	19.50	29.91
	787	1716	滋賀 栗東市	19.19	29.88
	788	1721	愛知 みよし市	18.65	28.07
	789	1725	埼玉 和光市	17.94	26.19
	790	1727	千葉 浦安市	17.80	25.65
	791	1728	愛知 長久手市	17.52	27.16
	792	1729	埼玉 戸田市	16.94	24.79

上では、全市区町村の場合と、市（東京特別区を除く）のみを対象にした場合について、上位と下位を20ずつ示しています。両ケースの上位20位までの市区町村の位置を、次のマップに示します。

「高齢化率」上位の市区町村マップ（令和2年国勢調査）

※全市区町村の1～20位を赤で表示しています（数値は順位）。

※「市」に絞った上位20位までのうち上記全国上位20に含まれるもの以外を青で表示しています（数値は全国順位）。



令和2年の高齢化率が最も高いのは群馬県南牧村で、その値は65.2%。人口の2/3近くが高齢者ということで、当然ながら老年人口指数も最大の201.3%であり、生産年齢1人で2人の高齢者を支えるという構図です。南牧村は県南西部の長野県境に接する山間部の村で、令和2年の人口は1,611

人。花卉やこんにゃく等を主産物とする自然豊かな村ですが、人口減少は続いており、15歳未満の年少人口割合は2.4%と全国最少レベルです。

このほか上位には山間部に位置する町村が多く含まれます。一方、高齢化率が低いのは東京区部を含め大都市近郊の市町が目立ちますが、その中で、東京都小笠原村、御蔵島村、青ヶ島村の名が目を惹きます。これらの離島では、リゾートバイトとして来た若者が長期定住するケースも多く、母数の人口規模が小さい中で、定期的に入れ代わる都や国の公務員とその家族の比重が相対的に高くなること等の事情があるようです。

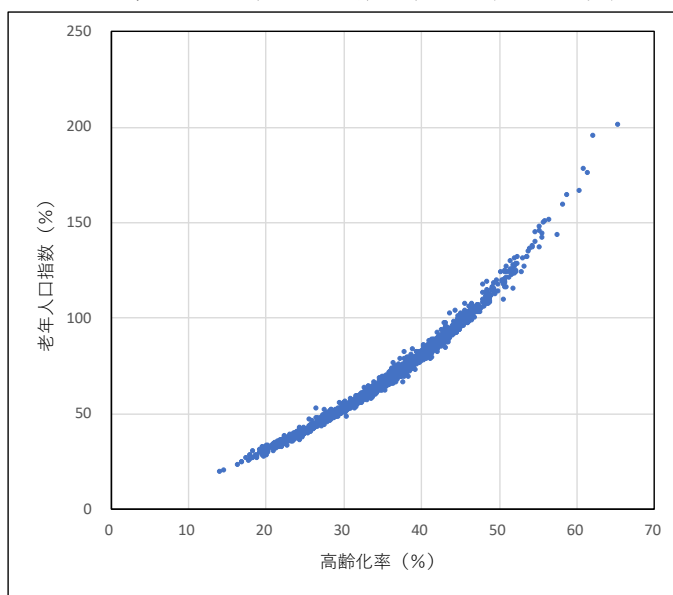
因みに、「市」（東京特別区を除く）で最も高齢化率が高いのは北海道歌志内市で、その周囲で元炭鉱地域のいくつかの市も同様の状況です。ただし、高齢化率上位の市町村は、全体に西日本の山間地域に多く、奈良県内の三重県に接する山間部の村が軒並み上位に入っている点にも注目されます。

なお、東京特別区（23区）の比較では、高齢化率最上位は足立区（25.4%）ですが、それでも全国平均よりはかなり低い値です。

東京特別区の高齢化率（令和2年国勢調査）

順位	全体順位	区名	高齢化率(%)	老年人口指数(%)
1	1556	東京 足立区	25.41	40.12
2	1573	東京 葛飾区	24.90	39.13
3	1582	東京 北区	24.69	38.00
4	1624	東京 板橋区	23.65	36.04
5	1638	東京 荒川区	23.33	35.71
6	1649	東京 台東区	22.72	33.23
7	1650	東京 大田区	22.65	34.03
8	1662	東京 墨田区	22.12	32.73
9	1667	東京 練馬区	22.01	33.28
10	1682	東京 江戸川区	21.39	32.44
11	1684	東京 江東区	21.23	32.19
12	1689	東京 杉並区	21.03	30.76
13	1698	東京 世田谷区	20.27	29.76
14	1702	東京 中野区	20.18	28.46
15	1704	東京 新宿区	20.00	28.26
16	1705	東京 品川区	19.92	29.17
17	1707	東京 豊島区	19.77	27.74
18	1709	東京 目黒区	19.63	28.34
19	1719	東京 渋谷区	18.88	26.75
20	1720	東京 文京区	18.85	27.50
21	1730	東京 港区	16.87	24.33
22	1731	東京 千代田区	16.36	23.33
23	1732	東京 中央区	14.61	20.36

高齢化率と老年人口指数の関係（市区町村）



参考までに、今回とりあげた高齢化率と老年人口指数（いずれも令和2（2020）年）の関係（市区町村の値による）図を上（右）に示します。年少人口や生産年齢人口の相違により若干の順位の相違はありますが、相互に密接な関係にあります。

以上のように、高齢化の様相は全国各地でそれぞれの事情も背景にさまざまであり、その対応施策も全国一律のものだけでは限界があるとも言えそうです。高齢化は時とともにさらに進行します。高齢化率が高いところは、若い人々の呼び込みや出生率の向上、そのための交流促進などに地域の特性を活かす知恵を絞ることが、存続のために重要と言えるでしょう。ただ、少子化の流れの中で若い人の取り合いになるでしょうが、その競争意識が全体の活力向上につながれば幸いと思います。